

福王寺だより

お彼岸も過ぎ、いよいよ春に向かつて歩む季節となりました。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

津別町も消防が新しくなり、役場も新庁舎が立ち、引越しがゴールデンウィークとなるようです。

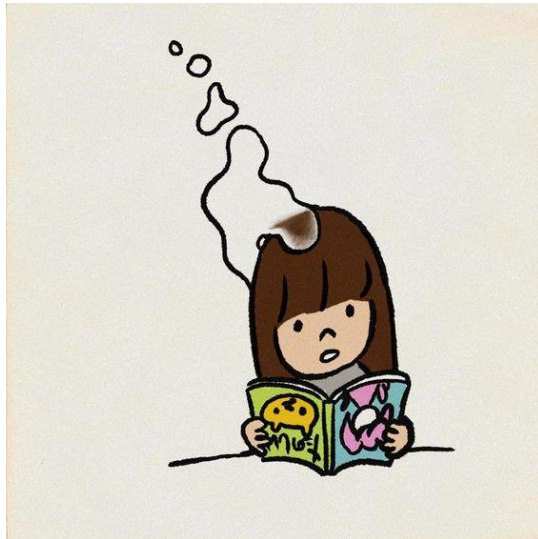
春という季節は、新しい気持ちになつて有り難いですね。

心新たにスタートしたいと思います。

「こころ」の不思議

「こころ」とは不思議なものです。その時々の状態によつて私達は仏のように優しい気持ちにもなれば、鬼のような恐ろしい気持ちにもなります。またその動きをいくらか自制しようと思つても、どうしても思うようにならず、後で後悔することが往々にしてあるものです。

そして「こころ」は世界を作つていきます。「心ここに在らざれば、視れども見えず」という言葉があります。何事もうわの空であれば、たとえどんなに美味しい料理を食べても、その味はわかりません。また他に注意が向いていれば、目の前で大変な事が起こつても、そのことは目には見えないでしょう。



人の心がけで当然気がつく事があつても、その事実すら知らないという事があります。

私も我を通す方で、自分ばかりの考

えの中において、こうした事を気遣わなければと反省する次第です。

禅宗さんのお話にこのようなものがあります。

ある時、二人の僧が法座を告げるお寺の旗をなびくのを見て、一人の僧は、「旗がなびく」と言い、もうひとり「風が動くのだ」と言い張つて、互いに譲らず、いつまで経つても決着がつかません。

それを見ていた禅宗の第六祖慧能は「旗が動くのでもない、風が動くのでもない、お前たちの心が動くのだ」といい、二人は肝を冷やすのです。



講義中自分の雑談が迷惑になっていることは気づかないのに、他人の雑談は気になる。

コロナの中で、色々な意見の分断、かかった人への誹謗中傷、動いているのは私達の「こころ」です。

この「こころ」を整えていくのが修行でもあります。生活のリズムを整え、こころを整え、智慧を身につけていく。

この混沌のコロナの中で、様々な意見や行動があります。メディアでは様々なことをいって不安を煽ります。

流されず、心を整えて、わかりきっている単純な事でも注意を凝らして、素直な気持ちで受け止めて、実践していくそんな修行をしていければと思います。春になり、生命の動きが活発になってきます。毎年花が咲くのは、当たり前のことですが、野に咲く花に心を向け、いのちと対話するだけでも幸せな時間を過ごせるのかもしれない。

こころの不思議を感じ、こころ新たにスタートして行きたいですね。

(新みちしるべ参照)

合掌

行事のご案内

「春下座行」

四月二十五日

午前八時三十分

於 津別町福王寺

※お寺の掃除にきてみませんか？誰でも歓迎です。きれいな境内は、お参りに来た方を快くします。皆様の力で功德をつみましょう。

「福王寺八十八カ所霊場

山開き 並 毘沙門天祭」

五月十日 十一時より

於 津別町福王寺

福王寺境内の八十八カ所霊場を巡拝します。春を感じ、お寺の八十八ヶ所を参拝しませんか？また福德の神、毘沙門天様のお参りを致します。福がありますよう、ご一緒に願いましょう。

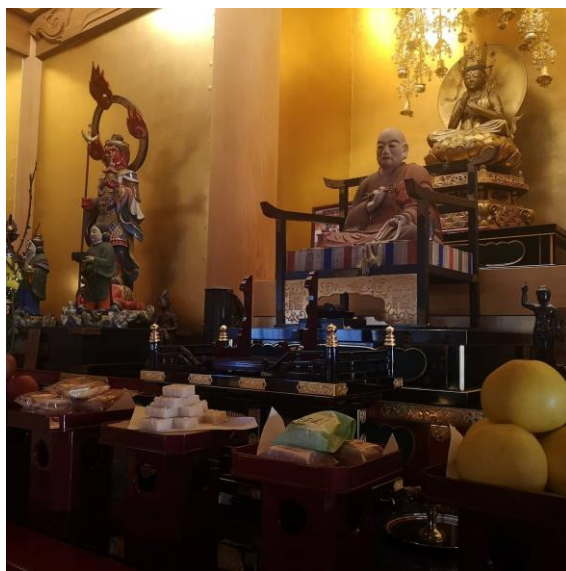
お接待はコロナウイルスの影響で判断致します。早く皆さんと一緒に、食事したいと思っております。

寺院 活動報告

春彼岸 弘法大師正御影供

昨年はお参りできませんでしたでしたが、今年は皆さんでなんとかお参りできました。

感謝の心を形にして、新たなスタートをする時間となれば幸いです。皆様にお大師様のご加護がありますよう。



ホームページも更新していますので、見てく
ださいね！

<http://fukuoji.info/>
SNS インスタグラムもしています。
是非フォローください！